

# しんくみ ゲンちゃん

シリーズ1 6月 <sup>ながい</sup>長井あやめ <sup>こうえん</sup>公園

いつも<sup>げんき</sup>元気な ゲンちゃん

いつも<sup>あか</sup>明るい ゲンちゃん

きょう <sup>あさ</sup>朝から<sup>げんき</sup>元気に <sup>おくに</sup>小国の<sup>のやま</sup>野山を<sup>か</sup>駆け<sup>まわ</sup>回ります

## 6月のゲンちゃん

きょうのゲンちゃんは <sup>とう</sup>お父さん<sup>かあ</sup>お母さんと<sup>いっしょ</sup>一緒に <sup>よねさかせん</sup>米坂線  
と<sup>ながいせん</sup>長井線の<sup>れっしゃ</sup>列車を<sup>の</sup>乗り<sup>ながい</sup>ついで <sup>ながい</sup>長井の<sup>こうえん</sup>あやめ公園に<sup>き</sup>来てい  
ます

<sup>れっしゃ</sup>列車の<sup>なか</sup>中で <sup>とう</sup>お父さん<sup>かあ</sup>お母さんは <sup>けっこん</sup>結婚する<sup>まえ</sup>前にあやめ

<sup>こうえん</sup>公園で<sup>はな</sup>デートしたことを<sup>はな</sup>話してくれました

ゲンちゃんは <sup>おくにえき</sup>小国駅で<sup>か</sup>買って<sup>もら</sup>もらった<sup>キャラメル</sup>キャラメルを<sup>なめ</sup>なめ

ながら <sup>たの</sup>楽し<sup>むか</sup>そうに<sup>はなし</sup>昔の話を<sup>とう</sup>お父さん<sup>かあ</sup>お母さんの

<sup>はなし</sup>話を<sup>き</sup>聞いて<sup>いま</sup>いました

<sup>いまいづみえき</sup>今泉駅で<sup>の</sup>乗りかえて<sup>ながいえき</sup>長井駅に<sup>おり</sup>たゲンちゃんたちは

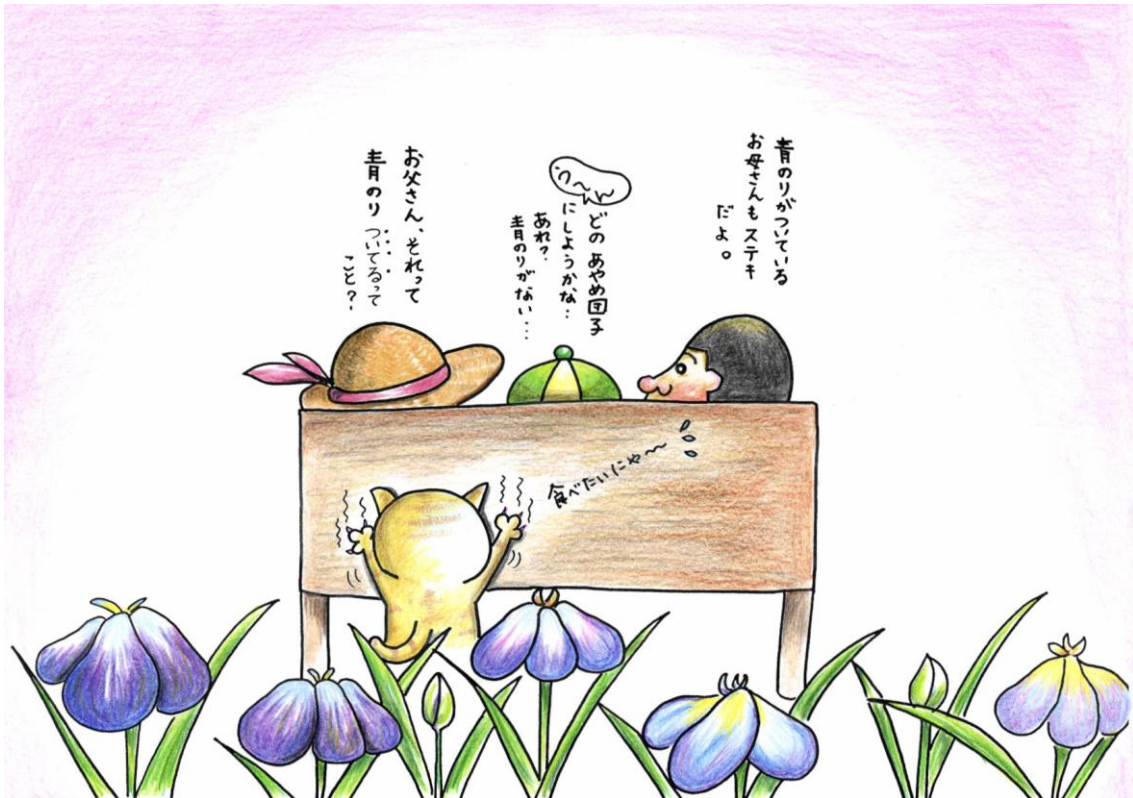
ある  
歩いてあやめ公園に向かいました

あやめ公園は たくさんの種類のあやめが咲いていて た  
くさんの人があやめを見物に来ていました

池の向こうには舞台があって 着物の姿のお姉さんたちが踊  
っていました

売店で お母さんがあやめ団子を買って 3人で食べました

ゲンちゃんはお青のりの団子がおいしいと思いました



もがみがわ やまがたけん つら なが かわ はじ  
最上川という山形県を貫いて流れるおおきな川の始まりが

この<sup>ながい</sup>長井<sup>なの</sup>なのよね とお<sup>かあ</sup>母<sup>さん</sup>さんが<sup>い</sup>言い お<sup>とう</sup>父<sup>さん</sup>さんがうなず  
きました

<sup>ながい</sup>長井<sup>やま</sup>は山<sup>とお</sup>が遠<sup>く</sup>にある<sup>まち</sup>町<sup>だ</sup>なあ と<sup>お</sup>ゲン<sup>ちゃん</sup>ちゃんは<sup>おも</sup>思いまし  
た

<sup>おくに</sup>小国<sup>にも</sup>もどって <sup>ちか</sup>近<sup>く</sup>に<sup>やま</sup>山<sup>み</sup>を見て ほっとした<sup>ゲンちゃん</sup>ゲンちゃん  
でした

いつも<sup>げんき</sup>元気な「<sup>しんくみ</sup>しんくみ <sup>ゲンちゃん</sup>ゲンちゃん」は<sup>やまがたちゅうおうしんよう</sup>山形中央信用  
<sup>くみあい</sup>組合の<sup>マスコット</sup>マスコット・<sup>キャラクター</sup>キャラクターです。  
「<sup>ゲンちゃん</sup>ゲンちゃん」のように<sup>わたし</sup>私<sup>たち</sup>たち<sup>やまがたちゅうおうしんようくみあい</sup>山形中央信用組合も  
<sup>げんきいっぱいがんば</sup>元気一杯<sup>頑張</sup>頑張ります。